

女性の命と健康を守る

乳がん検診の拠点を視察

知団
愛議
党県

女性の命と健康を守る」と意見交換を行った。同診療所は、一宮市公明党愛知県議団(渡立市市民病院との統合で会克明団長)は先ご9月末に開院した県立る、一宮市にある「愛循環器呼吸器病センター診療所(堀尾章代所長)を視察し、関係者

拠点として注目されている。現在は検診のみだが、来年4月から外来での抗がん剤やホルモン剤を投与する化学療法が受けられる態勢の整備が進められている。



マンモグラフィー検診について説明を受ける党愛知県議団(左側7人)

席上、堀江所長は乳がんの仕組みや外国の検診状況などを紹介。日本での検診率向上に向けて、意識啓発の必要性を訴えた。これに対し、渡立団長はがん検診の受診者増加とともに、マンモグラフィー検診との併用による発見率向上を図るため、乳がん検診用の超音波診断装置の普及に向けて努力していく考えを示した。